



330 GC

油圧ショベル

技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域のCat®ディーラにお問い合わせください。

目次

仕様.....	2
エンジン.....	2
旋回機構.....	2
質量.....	2
トラック.....	2
駆動系.....	2
油圧システム.....	2
整備交換時の容量.....	2
標準.....	2
騒音性能.....	2
運転質量および接地圧.....	3
主要コンポーネント質量.....	3
寸法.....	4
作業範囲および力.....	5
バケット仕様および互換性.....	6
アタッチメント適合ガイド.....	7
標準およびオプション装備品.....	8
ディーラ装着のキットおよびアタッチメント.....	10
330 GCの環境に関する宣言.....	11

330 GC油圧ショベルの仕様

エンジン

エンジンモデル	Cat® C7.1	
定格出力 (ネット)		
ISO 9249	150 kW	201 hp
ISO 9249 (DIN)	204 hp (メートル単位)	
エンジン出力		
ISO 14396	151 kW	202 hp
ISO 14396 (DIN)	205 hp (メートル単位)	
内径	105 mm	4 in
行程	135 mm	5 in
総行程容積 (排気量)	7.1 L	433 in ³
バイオディーゼル対応	B20まで ⁽¹⁾	

- 米国EPA Tier 4 Final、EU Stage V、韓国Stage V、日本オフロード法 2014年基準の各排出ガス基準に適合しています。
 - 標高4,500 m (14,760 ft) まで運転可能。ただし、標高 3,000 m (9,840 ft) を超えるとエンジン出力は低下します。
 - 公称出力は、製造時点で有効な指定規格の下で試験した場合の値です。
 - 表示されている定格出力 (ネット) は、エンジンにファン、エアインテイクシステム、排気システム、およびオルタネータを装備している場合に、フライホイール部で得られる出力です。
 - 定格エンジン回転数は2,200 rpmです。
 - ⁽¹⁾ CATディーゼルエンジンでは、ULSD (硫黄含有量が15 ppm以下の超低硫黄ディーゼル燃料) か、下記を上限とするより低い炭素強度燃料を混合したULSD**相当の燃料*を使用する必要があります。
 - ✓ 20%のバイオディーゼルFAME (脂肪酸メチルエステル) ***
 - ✓ 最大100%の再生可能ディーゼル、HVO (水添植物油)、および GTL (ガス液化) 燃料
- 適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Catディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar推奨の機械油書類』(SEBU6250) を参照してください。
- *Caterpillarのエンジンはこれらの代替燃料に対応していますが、地域によっては使用が許可されていない場合もあります。
- **低炭素強度燃料使用時に排気管から排出される温室効果ガスの量は、従来の燃料と基本的に同じです。
- ***後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大100%のバイオディーゼルを使用できます (混合率が20%を超えるバイオディーゼルの使用については、Catディーラにお問い合わせください)。

旋回機構

旋回速度	11.5 rpm	
最大旋回トルク	105 kN·m	77,370 lbf·ft

質量

運転質量	27,800 kg	61,300 lb
------	-----------	-----------

- 標準足回り、リーチブーム、R3.2 m (10 ft 6 in) アーム、標準デューティ掘削 (GDx) 1.20 m³ (1.57 yd³) バケット、600 mm (24 in) トリプルグロウサシュー、5,800 kg (12,790 lb) カウンタウエイト。

トラック

標準トラックシュー幅	600 mm	24 in
オプショントラックシュー幅	800 mm	31 in
シューの数 (片側)	45	
トラックローラの数 (片側)	7	
キャリアローラの数 (片側)	2	

駆動系

登坂能力	35 °/70 %	
最高走行速度	5.3 km/h	3.3 mph
最大けん引力	248 kN	55,753 lbf

油圧システム

メインシステム – 最大流量 – 作業時	560 L/min (280 × 2ポンプ)	148 gal/min (74 × 2ポンプ)
最大圧力 – 機器	35,000 kPa	5,075 psi
最大圧力 – 走行時	35,000 kPa	5,075 psi
最大圧力 – 旋回時	28,400 kPa	4,118 psi
ブームシリンダ – 内径	140 mm	6 in
ブームシリンダ – 行程	1,407 mm	55 in
スティックシリンダ – 内径	150 mm	6 in
スティックシリンダ – 行程	1,646 mm	65 in
バケットシリンダ – 内径	135 mm	5 in
バケットシリンダ – 行程	1,156 mm	46 in

整備交換時の容量

燃料タンク容量	474 L	125.2 gal
冷却系統	25 L	6.6 gal
エンジンオイル	25 L	6.6 gal
旋回ドライブ	10 L	2.6 gal
ファイナルドライブ (片側)	5.5 L	1.5 gal
作動油 (全量)	310 L	81.9 gal
作動油タンク	147 L	38.8 gal
尿素水タンク	41 L	10.8 gal

標準

ブレーキ	ISO 10265: 2008
キャブ/転倒時運転者保護構造 (ROPS、Rollover Protective Structure)	ISO 12117-2:2008
オペレータ保護ガード (OPG)	ISO 10262:1998 Level II (オプション)

騒音性能

ISO 6395:2008 (外部)	103 dB (A)
ISO 6396:2008 (キャブ内部)	70 dB (A)

- 外部音響 - 外部音響出力レベルは、適切に装備および保守された Caterpillar製機械に対してISO 6395:2008で指定されたテスト手順および条件に従って測定されます。この測定は、エンジン冷却ファン速度を最高回転数の70%にして実施されたものです。
- 内部騒音 - オペレータ音圧レベルは、Caterpillarが提供したキャブを適正に取り付け、維持管理し、ドアおよびウィンドウを閉めた状態で、ISO 6396:2008に規定される試験の手順と条件に従って測定されています。この測定は、エンジン冷却ファン速度を最高回転数の70%にして実施されたものです。
- 開放型の運転室やキャブ (ドア/窓が開いた状態で適切にメンテナンスされていない場合) で、長時間作業を行うときや騒音の激しい環境では、聴力保護具が必要になる場合があります。

運転質量および接地圧

ベース車両仕様構成	600 mm (24 in) トリプルグローサシュー		800 mm (31 in) トリプルグローサシュー	
	質量	接地圧	質量	接地圧
トラックローラおよびキャリアローラ付きのベースフレーム				
5,800 kg (12,790 lb) カウンタウエイト+標準足回りベース車両				
リーチブーム + R3.2CB2 (10 ft 6 in) アーム + 1.20 m³ (1.57 yd³) GDXバケット	27,800 kg (61,300 lb)	59.9 kPa (8.7 psi)	28,800 kg (63,500 lb)	46.6 kPa (6.8 psi)

すべての運転質量には、燃料タンク90 %と75 kg (165 lb) のオペレータが含まれます。

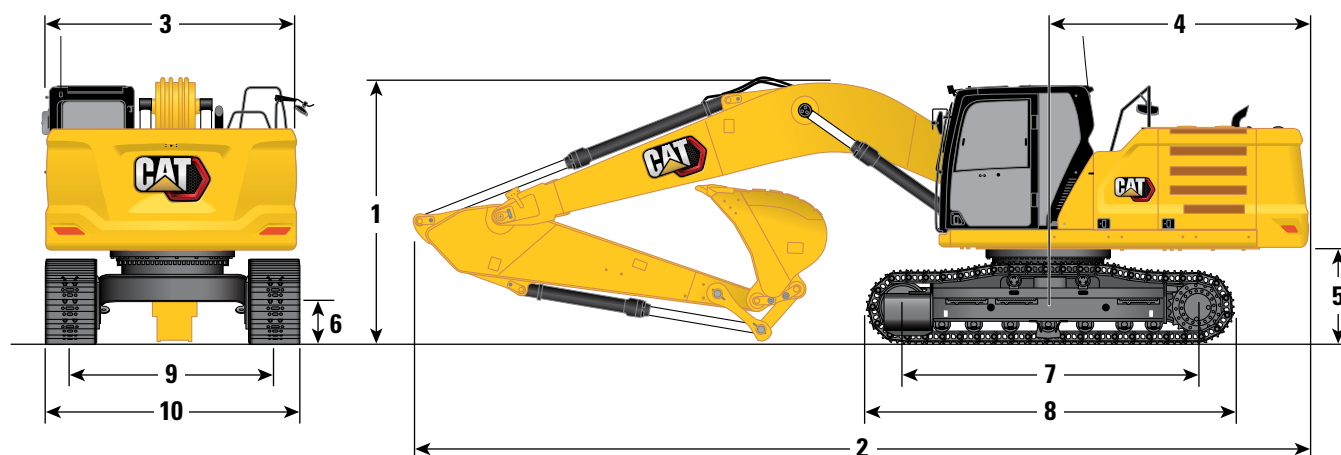
主要コンポーネント質量

	kg	lb
ベース車両 (5,800 kg (12,790 lb) カウンタウエイト、スイングフレーム、標準足回り (HDローラと2個のブームシリンダを含む)) – 90 %燃料タンクと75 kg (165 lb) のオペレータの質量を含まない。	19,220	42,400
トラックシュー:		
幅600 mm (24 in)、厚さ11 mm (0.43 in) のトリプルグローサトラックシュー	3,280	7,200
幅800 mm (31 in)、厚さ13 mm (0.51 in) のトリプルグローサトラックシュー (ステップエクステンション装備)	4,240	9,300
ブームシリンダ (2本)	490	1,100
燃料タンク90 %および75 kg (165 lb) のオペレータの質量	460	1,000
カウンタウエイト:		
5,800 kg (12,790 lb) カウンタウエイト	5,800	12,800
ブーム (ライン、ピン、スティックシリンダを含む):		
リーチブーム6.15 m (20 ft 2 in)	2,300	5,100
アーム (ライン、ピン、バケットシリンダ、バケットリンケージを含む):		
リーチアームR3.2CB2 (10 ft 6 in)	1,440	3,200
バケット (リンケージなし、チップおよびサイドカッタ付き):		
1.50 m³ (1.96 yd³) GDX、CBリンケージ	1,160	2,560
1.30 m³ (1.70 yd³) ヘビーデューティ掘削 (HDX) CBリンケージ	1,210	2,670
1.20 m³ (1.57 yd³) GDX、CBリンケージ	1,030	2,270
1.10 m³ (1.44 yd³) GDX、CBリンケージ	980	2,160
クイックカプラ (QC、Quick Coupler):		
ピングラバQC CB (ピンを含む)	530	1,200
ピングラバQC CB (ピンなし)	500	1,100
専用QC	430	900

330 GC油圧ショベルの仕様

寸法

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



ブームオプション

リーチブーム
6.15 m (20 ft 2 in)

アームオプション

リーチアーム
R3.2CB2 (10 ft 6 in)

1 車両の高さ:

キャブの高さ	3,050 mm	10 ft 0 in
OPG高さ	3,190 mm	10 ft 6 in
ハンドレール部高さ	3,050 mm	10 ft 0 in
ブーム/アーム/バケット装着	3,400 mm	11 ft 0 in
ブーム/アーム装着	3,380 mm	11 ft 1 in
ブーム装着	3,050 mm	10 ft 0 in

2 車両長さ:

ブーム/アーム/バケット装着	10,420 mm	34 ft 2 in
ブーム/アーム装着	10,420 mm	34 ft 2 in
ブーム装着	9,230 mm	30 ft 3 in

3 上部フレーム幅

2,940 mm 9 ft 7 in

4 後端旋回半径

3,130 mm 10 ft 3 in

5 カウンタウエイト下端高さ

1,110 mm 3 ft 8 in

6 最低地上高

490 mm 1 ft 7 in

7 タンブラ中心距離

3,490 mm 11 ft 5 in

8 トラック全長

4,350 mm 14 ft 3 in

9 クローラ中心距離

2,390 mm 7 ft 10 in

10 足回り幅:

600 mm (24 in) シュー	2,990 mm	9 ft 9 in
800 mm (31 in) シュー	3,190 mm	10 ft 5 in

バケットタイプ

GDX

バケット容量

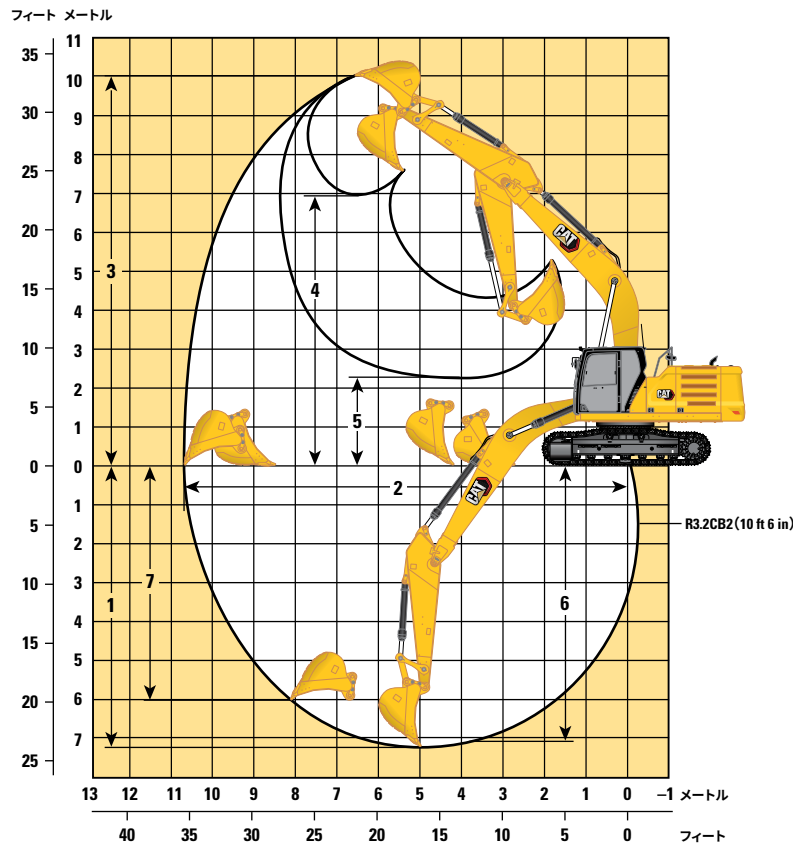
1.20 m³ 1.57 yd³

バケットチップの半径

1,580 mm 5 ft 2 in

作業範囲および力

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



ブームオプション

リーチブーム
6.15 m (20 ft 2 in)

アームオプション

リーチアーム
R3.2CB2 (10 ft 6 in)

1 最大掘削深さ	7,170 mm	23 ft 6 in
2 最大床面掘削半径	10,600 mm	34 ft 9 in
3 最大掘削高さ	10,010 mm	32 ft 10 in
4 最大ダンプ高さ	7,020 mm	23 ft 0 in
5 最小ダンプ高さ	2,370 mm	7 ft 9 in
6 2,440 mm (8 ft 0 in) のレベルボトムでの最大切削深さ	7,010 mm	23 ft 0 in
7 最大垂直掘削深さ	5,960 mm	19 ft 7 in
バケット掘削力 (ISO)	179 kN	40,240 lbf
アーム掘削力 (ISO)	126 kN	28,330 lbf
バケットタイプ	GDX	
バケット容量	1.20 m ³	1.57 yd ³
バケットチップの半径	1,580 mm	5 ft 2 in

330 GC油圧ショベルの仕様

バケット仕様および互換性

	リンケージ	幅		容量		質量		充填	リーチブーム
		mm	in	m³	yd³	kg	lb	%	R3.2 (10 ft 6 in)
ピンオン(クイックカブラなし)									
標準デューティ掘削	CB	1,300	51	1.10	1.44	983	2,167	100	●
	CB	1,350	53	1.20	1.57	1,034	2,280	100	●
	CB	1,650	65	1.50	1.96	1,157	2,552	100	⊖
ヘビーデューティ掘削	CB	1,300	51	1.10	1.44	1,110	2,447	100	●
	CB	1,450	57	1.30	1.70	1,213	2,674	100	◎
ピンオン装着時の最大荷重(積載質量 + バケット)								kg	3,660
								lb	8,069
ピングラバクイックカブラあり									
標準デューティ掘削	CB	1,300	51	1.10	1.44	983	2,167	100	◎
	CB	1,350	53	1.20	1.57	1,034	2,280	100	◎
	CB	1,650	65	1.50	1.96	1,157	2,552	100	○
ヘビーデューティ掘削	CB	1,300	51	1.10	1.44	1,110	2,447	100	◎
	CB	1,450	57	1.30	1.70	1,213	2,674	100	⊖
カブラ装着時の最大荷重(積載質量 + バケット)								kg	3,134
								lb	6,909

上記の負荷は油圧ショベル規格のEN474-5:2022/AC:2022に準拠しており、フロントリンケージを地盤面まで完全に伸ばしてバケットをカールさせた状態で、油圧リフト能力の87 %、またはチッピング容量 (バケット転倒容量) の75 %を超えないようになっています。

容量はISO 7451:2007に準拠しています。

バケット質量は標準デューティチップ装着時のものです。

マテリアルの最大密度:

- 2,100 kg/m³ (3,500 lb/yd³)
- ◎ 1,800 kg/m³ (3,000 lb/yd³)
- ⊖ 1,500 kg/m³ (2,500 lb/yd³)
- 1,200 kg/m³ (2,000 lb/yd³)

Caterpillar社では、製品から最大限の価値を得られるように適切なワークツールを使用するようお勧めしています。質量、寸法、流量、および圧力などに関する、Caterpillar社の推奨事項や仕様に沿わないワークツール (バケットを含む) を使用すると、生産性、安定性、信頼性、またはコンポーネントの耐久性が低下するなど、最適な性能を得られない場合があります。また、引きずる、てこのようにこじる、ねじる、重量物を受け止めるなど、ワークツールの誤使用は、ブームおよびアームの耐用年数低下につながります。

アタッチメント適合ガイド

地域により、ご使用になれないアタッチメントもあります。お客様の地域でご購入いただけるコンフィギュレーションについては、お近くのCatディーラーにお問い合わせください。

☒ 適合

☐ * 作業範囲はフロントのみ

ピンオンアタッチメント

ブームの種類	リーチ	
スティックの長さ	R3.2 (10 ft 6 in)	
油圧ブレーカ	H120 S	✓
	H130 S	✓
	H140 S	✓
	H160 S	✓*
ロータリカッター	RC20	✓
	RC30	✓

CATピングラバカプラアタッチメント

ブームの種類	リーチ	
スティックの長さ	R3.2 (10 ft 6 in)	
油圧ブレーカ	H120 S	✓
	H130 S	✓
	H140 S	✓
ロータリカッター	RC20	✓
	RC30	✓

ブーム取付けアタッチメント

ブームの種類	リーチ	
スクラップおよび解体用モービルシャー	S2070	✓
	S3050フラットトップ	✓

330 GC標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat®ディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
キャブ			エンジン		
ROPS	✓		Cat® C7.1、シングルターボディーゼルエンジン	✓	
OPG		✓	選択可能な2つのモード: パワー、スマート	✓	
高解像度203 mm (8 in) LCDタッチスクリーンモニター	✓		オートマチックエンジンスピードコントロール	✓	
自動バイレベルエアコン	✓		オートアイドリングストップ機能	✓	
モニタ操作用ジョグダイヤルおよびショートカットキー	✓		標高4,500 m (14,760 ft) まで運転可能。ただし、標高3,000 m (9,840 ft) を超えるとエンジン出力は低下	✓	
キーレスプッシュスタート式のエンジン制御	✓		52 °C (125 °F) の高い周囲温度にも対応する冷却機能で出力低下なく稼働	✓	
高さ調整可能なコンソール (工具で3段階に調整)	✓		寒冷時始動機能 (-18 °C (0 °F) まで)	✓	
固定式の左側コンソール	✓		寒冷時始動機能 (-32 °C (-25 °F) まで)		✓
機械式サスペンションシート		✓	115 Aデュアルオルタネータ (2台)	✓	
エアサスペンションシート		✓	プレクリーナ内蔵の密閉式ダブルエレメントエアフィルタ	✓	
51 mm (2 in) シートベルト	✓		2段階式燃料ろ過 (ウォーターセパレータおよびウォーターインジケータ付き)	✓	
Bluetooth®搭載ラジオ (USB/補助ポート付き)	✓		電動燃料プライミングポンプ	✓	
12 V DCコンセント	✓		電動冷却ファン (自動反転機能付き)	✓	
書類収納スペース	✓		油圧システム		
カップおよびボトルホルダ	✓		電子式メインコントロールバルブ	✓	
開閉可能な2分割式フロントウィンドウ	✓		電気式ブーム再生回路	✓	
リアウィンドウの緊急用避難口	✓		アーム再生回路	✓	
ウォッシャ付きラジアルワイパ (上部)	✓		自動暖機機能	✓	
開閉式スチール製ハッチ	✓		自動2速走行	✓	
LED車内灯	✓		ブームおよびスティックドリフトリダクションバルブ	✓	
ローラ式フロントサンスクリーン	✓		高性能作動油リターンフィルタ	✓	
ローラ式リアサンスクリーン		✓	ファイナルドライブ (生分解性作動油対応トラベルモータ付き)	✓	
フロアマット (水洗い可)	✓		ブレーカリターンフィルタ回路		✓
ビーコン対応	✓		ツールコントロール (ポンプ2基、単動/複動の高圧フロー)		✓
CATテクノロジー			中圧回路		✓
CAT機械管理			CATピングラバ用およびCW専用共通クイックカプラ回路		✓
VisionLink™	✓ ¹		電子式パターンチェンジャ (有効化が必要)	✓	
リモートフラッシュ	✓		(次ページに続く)		

¹状態、メンテナンスインサイト、状態モニタリングを管理するために、中核となるテレマティクスデータを提供します。より包括的なデータレポートに対応したその他のプランも用意しています。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

標準およびオプション装備品 (続き)

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
ブーム、アーム、リンケージ			整備とメンテナンス		
6.15 m (20 ft 2 in) リーチブーム	✓		エンジンオイルフィルタと燃料フィルタを まとめて配置	✓	
3.2 m (10 ft 6 in) リーチアーム	✓		グラウンドレベルの第2エンジンオイルレ ベルゲージ	✓	
バケットリンケージ、CB2ファミリ	✓		サイド乗車式のサービスプラットフォーム	✓	
足回りと構造			S-O-S SM ポート	✓	
センタートラックガイディングガード	✓		ラジエータスクリーン		✓
ボトムガード	✓		統合車両状態管理システム	✓	
スィベルガード		✓	安全とセキュリティ		
トラベルモータガード	✓		ブレーカ自動停止機能	✓	
グリース潤滑済みトラック	✓		リアビュー/右側サイドビューカメラ	✓	
ベースフレーム上の固定箇所	✓		PINコードによる安全始動機能	✓	
5,800 kg (12,790 lb) カウンタウエイト	✓		Caterpillarワンキーセキュリティシステム	✓	
600 mm (24 in) トリプルグローサトラック シュー	✓		ロック式外部ソールボックス/ストレージ ボックス	✓	
800 mm (31 in) トリプルグローサトラック シュー		✓	ロック式ドア (燃料タンクおよび作動油 タンクのロック)	✓	
電気系統			ロック式燃料ドレンコンパートメント	✓	
メンテナンスフリー1,000 CCA/バッテリー (×2)	✓		滑り止めプレートおよび沈み込み式ボル トを備えたサービスプラットフォーム	✓	
プログラム可能な消灯遅延機能付きLED 作業灯	✓		右ハンドレールと手すり	✓	
集中配置された電気系統ディスコネクト スイッチ	✓		キャブミラー (右側トラックエッジ用)	✓	
LEDシャーシライト	✓		信号/警告ホーン	✓	
LED左右ブームライト、キャブライト		✓	旋回アラーム		✓
			キャブ内グラウンドレベルセカンダリエン ジンシャットオフスイッチ	✓	
			ロック式ディスコネクトスイッチ	✓	
			全コントロールを無効にする油圧ロック アウトレバー	✓	
			点検用照明		✓

ディーラ装着のキットおよびアタッチメント

アタッチメントはこれと異なる場合があります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。

キャブ

- ツールコントロールのための右側/左側電気ペダル(2方向)
- 2分割式(70/30)キャブフロントウィンドウのウォッシャー付きラジアルワイパ(下部)
- ポリカーボネート製ルーフハッチ
- P5Aラミネートガラスキャブフロントウィンドウおよびルーフハッチ

ガード

- オペレータ保護ガード(キャブライトカバー、レインプロテクタには非対応)
- キャブフロントフルガード(メッシュタイプ)(キャブライトカバー、レインプロテクタには非対応)
- メッシュガード下半分フロント

整備とメンテナンス

- グリースガンホルダー

安全とセキュリティ

- Bluetooth対応レシーバ

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時点で有効ですが、機械の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サステナビリティの実例および当社の進捗状況については、<https://www.caterpillar.com/en/company/sustainability>をご覧ください。

エンジン

- CAT® C7.1エンジンは、米国EPA Tier 4 Final、EU Stage V、韓国 Stage V、日本オフロード法2014年基準の各排出ガス基準に適合しています。
 - アフタートリートメントシステム付きCATディーゼルエンジンでは、ULSD（硫黄含有量が15 ppm以下の超低硫黄ディーゼル燃料）またはそれを上限として、低炭素強度燃料**を混合したULSDを使用*する必要があります。
 - ✓ 20%のバイオディーゼルFAME（脂肪酸メチルエステル）***
 - ✓ 最大100%の再生可能ディーゼル、HVO（水添植物油）、およびGTL（ガス液化）燃料
- 適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Catディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar推奨の機械油水類』（SEBU6250）を参照してください。
- *Caterpillarのエンジンはこれらの代替燃料に対応していますが、地域によっては使用が許可されていない場合もあります。
- **低炭素強度燃料使用時に排気管から排出される温室効果ガスの量は、従来の燃料と基本的に同じです。
- ***後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大100%のバイオディーゼルを使用できます（混合率が20%を超えるバイオディーゼルの使用については、Catディーラにお問い合わせください）。

エアコンシステム

- 当機のエアコンシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134aまたはR1234yfを使用しています。ガスの識別についてはラベルまたは取扱説明書を参照してください。
 - R134a（地球温暖化係数=1,430）使用システムには、0.85 kg（1.9 lb）の冷媒が含まれています。これはCO₂換算で1.216メートルトン（1.340トン）に相当します。
 - R1234yf（地球温暖化係数=0.501）使用システムには、0.78 kg（1.7 lb）の冷媒が含まれています。これはCO₂換算で0.001メートルトン（0.001トン）に相当します。

塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、重金属の塗装内の最大許容濃度（ppm単位）は次のとおりです。
 - バリウム < 0.01 %
 - カドミウム < 0.01 %
 - クロム < 0.01 %
 - 鉛 < 0.01 %

騒音性能

ISO 6395:2008（外部） – 103 dB(A)

ISO 6396:2008（キャブ内部） – 70 dB(A)

- 外部音響 – 外部音響出力レベルは、適切に装備および保守されたCaterpillar製機械に対してISO 6395:2008で指定されたテスト手順および条件に従って測定されます。この測定は、エンジン冷却ファン速度を最高回転数の70%にして実施されたものです。
- 内部騒音 – オペレータ音圧レベルは、Caterpillarが提供したキャブを適正に取り付け、維持管理し、ドアおよびウィンドウを閉めた状態で、ISO 6396:2008に規定される試験の手順と条件に従って測定されています。この測定は、エンジン冷却ファン速度を最高回転数の70%にして実施されたものです。
- 開放型の運転室やキャブ（ドア/窓が開いた状態で適切にメンテナンスされていない場合）で、長時間作業を行うときや騒音の激しい環境では、聴力保護具が必要になる場合があります。

油水類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CATディーゼルエンジン不凍液/クーラント（DEAC、Diesel Engine Antifreeze/Coolant）およびCATエクステンデッドライフクーラント（ELC、Extended Life Coolant）は、リサイクルできます。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
- CAT Bio HYDO™ Advancedは、EU Ecolabel認証済みの生分解性作動油です。
- その他の油水類も存在する可能性があります。詳細な推奨油水類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

機能およびテクノロジー

- 次の機能およびテクノロジーは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なることがあります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
 - 先進の油圧システムが出力と効率のバランスを保ちます。
 - スマートモードは、機械のパワーを掘削要件に自動的に一致させます。
 - 延長されたサービス間隔により、メンテナンスコストの削減が可能です。
 - プログラム可能な高効率の冷却ファンは必要時にのみ作動します。
 - 最新の作動油フィルタにより、交換間隔が3,000時間と長寿命になります。

リサイクル

- 車両に含まれる材質の分類と概算の質量割合を以下に示します。製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

材質タイプ	質量割合
鋼	86.85 %
鉄	4.63 %
非鉄金属	1.55 %
合金	0.07 %
金属および非金属混合物	0.63 %
プラスチック	1.79 %
ゴム	0.16 %
非金属混合物	0.23 %
油水類	3.12 %
その他	0.96 %
未分類	0.00 %
合計	100 %

- リサイクル可能率の高い車両により、貴重な天然資源をさらに効率的に使用でき、耐用年数に到達した製品の価値が高まります。ISO 16714:2008（土木建設機械類 – リサイクル可能率および回収可能率 – 用語および計算方法）によれば、リサイクル可能率は新品の車両のリサイクル、再利用、またはその両方が可能な重量による割合（パーセント単位の重量分率）として定義されます。

部品表のすべての部品は、まずISO 16714:2008および日本CEMA（Construction Equipment Manufacturers Association、日本建設機械工業会）の基準により定義されているコンポーネントの一覧に基づくコンポーネントタイプにより評価されます。さらに、残りの部品のリサイクル可能率が材質タイプに基づいて評価されます。

製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

リサイクル可能率 – 97%



オフロード法2014年
基準適合



国土交通省
超低騒音型建設機械

CAT製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Webサイト
(www.cat.com)をご覧ください。

© 2025 Caterpillar
All rights reserved

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプション装備品が装着されていることがあります。利用可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、VisionLink、それらの各ロゴ、“Caterpillar Corporate Yellow”、“Power Edge”
およびCAT “Modern Hex”のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商
標であり、許可なく使用することはできません。

労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械
運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき機体質量3トン以上の「車両系建設機械
(整地・運搬・積込・掘削用)および(解体用)の運転」には登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取
得が必要です。

AJXQ4014-01 (11-2025)
AJXQ4014-00 の改訂版
ビルド番号: 07H
(Japan)

